

そんな折、ネイティブ教師の François Roussel 教官が中心となり、本大学での理想的な教材作成を目標とする、フランス語会話モジュールの開発が進められた⁵。フランス語会話モジュールは、このように授業への導入が前提となり開発されたものである。

フランス語会話モジュールは「挨拶をする」や「人を紹介する」といった他言語と共通する 40 の機能を設定している。なお、総例文数は 632 文あり、製作者が設定したキーセンテンスは 133 文ある。

2. レベル設定

2.1 CEFR の枠組みの再考察

CEFR は、最初に 3 つの大きなレベルである A, B, C に分かれ、更にそれを枝分かれさせる「枝分かれ方式」を採用している⁶。A は「基礎段階の言語使用者 (Basic User)」、B は「自立した言語使用者 (Independent User)」、C は「熟達した言語使用者 (Proficient User)」と名付けられている。それぞれに 2 つずつレベルが設けられており、A1, A2, B1, B2, C1, C2 の計 6 段階の言語能力レベルが設定されている。

教材のレベル設定には明確で、有効であると思われるこの 6 段階のレベルであるが、特定の言語教材のレベルを設定するには、レベル内の能力を記述する内容に問題が残っている。そもそも CEFR は、ヨーロッパ共同体内での政治、文化、教育の必要性の中からヨーロッパ各言語に共通する能力記述が求められて開発されたものであり、個別言語を対象に基準が設けられているわけではない。したがって全言語に適用できるよう、記述が詳細に行われているのではなく、漠然としているものが多い。例えば、A1 レベルの表現に関する記述は以下のようなものである：

- どこに住んでいるか、また知っている人たちについて、簡単な語句や文を使って表現できる。

簡単な語句や文と言った場合に、どの程度のものが簡単かという判断の基準は与えられておらず、漠然としていると言うことができる。

したがって、フランス語会話モジュールに限定して言語能力レベルを考えていく場合、CEFR の記述以外の視点を取り入れる必要があると考えた。

2.2 フランス語会話モジュールのレベル設定

フランス語会話モジュールのレベル設定を行うにあたり、CEFR のレベルのうち A1, A2, B1 の 3 段階からレベルを決定することにした。なぜなら、オーラルコミュニケーションの領域、つまり聴解および産出の双方において、フランス語の教師陣は、2 年生の年度末に生徒全員を少なくともフランス語によるやり取りが可能で、議論を理解し、自分の意見を述述することができるレベル、つまり CEFR の B1 レベルに到達させることを目標としているためである⁷。実際にフランス語会話モジュールは 2 年次の授業で使用されており、本教

⁵ ルーセル他 (2006)

⁶ Council of Europe (2004)

⁷ ルーセル他 (2006)

材がそのレベル内に収まることが予測できる。また、学部2年生がB1レベルに到達するかどうかという点に関しては、中島・永田（2006）が東京外国語大学の学部生2年生に実施したアンケート調査の結果からも確かめられている⁸。

3. レベル分析

3-1 分析方法

CEFR の記述から、レベル分けに必要な項目を抽出し、主にこれをもとにキーセンテンスのレベル分けを行う。また CEFR の記述では不十分な場合や、記述に含まれていない文については、文型や語彙などを考慮したり、フランスで出版されている CEFR に準じた参考書⁹などをもとに、レベル分けを行う。

3-2 分析対象

レベル分析の対象は各機能を実現しているキーセンテンス 132 文とする。

3-3 分析結果¹⁰

キーセンテンス全 132 文のうち、A1 レベルは 39 文、A2 レベルは 55 文、B1 レベルは 38 文となった。

4. 考察

まず、今回の調査の大きな目的であった、CEFR とフランス語会話モジュールの適合性の考察から始める。次に今回の分析の際に見えてきた、レベル別の特徴、CEFR の枠組みと異なる例文、機能とレベルの関係を考察していく。

4.1. フランス語会話モジュールへの適合性

CEFR の能力記述の観点に従い、フランス語会話モジュールのキーセンテンスのレベル判定を行った結果、おおむね CEFR の能力記述をキーセンテンスに当てはめることができ、さらにレベルも A1, A2, B1 内に収まっている事が分かった。よって CEFR の言語能力記述文はフランス語会話モジュールのレベル設定へ充分適応可能であるといえよう。

4.2. キーセンテンスにおけるレベル別の特徴

レベルごとの特徴は、以下の通りである。

A1 レベル

能力記述に現れる「基本的な挨拶」や「いとまごいの表現」からも分かるように、A1 レベルは定型表現を多く含むのが特徴である。今回のレベル判定においても、フランス語会話

⁸ 中島・永田（2006: 170）

⁹ Beacco（2004）、Beacco（2005）、Bérard（2005）

¹⁰ 詳細は本論末の表を参照のこと。

モジュールに収められる定型表現は A1 とした。また能力記述には含まれていなかったが、主題文 (C'est ~) も A1 レベルとして判断した。なぜなら主題文は簡単な構造をなしており、Beacco (2005) の中にも A1 レベルとして記載されているためである。主題文に関する会話モジュールの例と Beacco の例をそれぞれ挙げる：

会話モジュール C'est tout près.

Beacco C'est joli, ton sac.

また、その他の能力記述に含まれていないもののうち、S+V の簡単な自動詞の文構造のものや、前置詞句、副詞句、名詞句など、文レベル以下の短いものを A1 レベルとした。

A2 レベル

A2 レベルでは、「何をすべきか、どこに行くのかを話して会う約束をする」や「店、郵便局、銀行で簡単な取引をする」など、A1 レベルよりもやりとりを前提とした能力記述が多くみられる。CEFR にも、A2 レベルは社会的な機能に関わる記述の多くが見られるようになると思われる¹¹。社会的な機能という記述は少し曖昧であるが、やりとりが関わっていると考えるとよい。したがってやりとりにおいて欠かすことのできない疑問文が、B2 レベルに相当すると判断した。実際、今回のレベル判定で A2 レベルとしたものには、疑問文が多く含まれる。特に、Est-ce que 型の疑問文や倒置型疑問文は A2 レベルに相当するであろう。Beacco (2005) が A1 レベルと判定した疑問文は、主にイントネーション型であったということも、この判定の正当性を裏付けている。

また、CEFR の能力記述に含まれていないもので A2 レベルとしたものは、文構造が簡単なものではあるが使用単語がやや難しいものや、目的語として代名詞が使用されている場合である¹²。

B1 レベル

B1 レベルは、「経験、できごと、夢、希望、野心を説明する」から分かるように、より多くの時制を使いこなせることが前提であり、また「信念、意見、賛成、反対を丁寧に表現する」のように、話し手に合わせた使い分けができるレベルであるといえる。CEFR でも、コンテキストに応じて言いたいことを分かってもらう能力がある段階を B1 としていることから、これが裏付けられる¹³。よって、フランス語会話モジュールに含まれる単純未来形、複合過去形、半過去形、条件法などは B1 レベルであると判断した。そして話し手にあわせた使い分けに関しては、主に相手の意見に反対する時や要求するときに見られる条件法や単純未来形の使用は、このレベルであるとした。

また能力記述に見られない例文は見当たらなかった。

4.3. CEFR の枠組みと異なる例文

CEFR で提示される能力記述文のレベルと、今回の判定のレベルとが異なる例文も多

¹¹ Council of Europe (2004: 34)

¹² フランス語では、代名詞が目的語として使用される場合に、その性や数、直接目的語が間接目的語かで形や現れる位置が変わるため、レベルが高くなると考えた。

¹³ Council of Europe (2004: 34)

かったため、その点についてレベル別に説明を加えていく。

A1 レベル

能力記述文においては、A1 レベル以上であると設定されているが、定型文であるために A1 レベルであると判断した場合が多かった。以下のような例である：

- ① C'est combien le kilo? →価格を尋ねる (A2)
- ② C'est la première fois. →経験 (B1)
- ③ Je ne suis pas d'accord. →意見に反対する (A2)
- ④ D'accord. →意見に賛成する (A2)
- ⑤ Je voudrais une frisée. →料理を注文する (A2)

A2 レベル

能力記述文では A1 と判定されるものの、A2 レベルとしたものには、語彙や統語の複雑性や一般性の低さが大きく関係している。例えば以下の文である：

- ⑥ Je me présente Simon Fuji. →自分を紹介する (A1)
- ⑦ Quelle est la superficie du Japon. →数を尋ねる (A1)
- ⑧ C'est une grande blonde aux yeux verts. →個人情報 (A1)

⑥は、フランス語では自己紹介をする時に、Je me présente よりも Je m'appelle という表現の方を多く使用することで A2 レベルとした。⑦は superficie という単語も頻出ではない。⑧は統語的にかなり複雑である。

B1 レベル

能力記述文では A2 と判断されるが、今回 B1 レベルとしたものは、語用論的使用であるもの、丁寧な質問や要求が含まれていた。以下の 5 文がその例である：

- ⑨ Vous pouvez m'indiquer le chemin pour y aller? →旅行 (A2)
- ⑩ Tu préférerais peut-être quelque chose de plus épicé? →好きなもの (A2)
- ⑪ Est-ce que je pourrai prendre un bain aujourd'hui? →指示の要求 (A2)
- ⑫ Je pourrais peut-être prendre un verre de vin? →指示の要求 (A2)
- ⑬ Je le souhaiterais sans viande de boeuf. →料理の注文 (A2)

⑨は、動詞 pouvoir を用いた可能を表す文を、相手へのお願いとして用いているという点で、語用論的使用であるといえるので B1 レベルとした。また、⑩⑫⑬は、条件法を用いることにより、また⑫は単純未来形を使用することで丁寧な質問をしている。

4.4. 機能とレベルの関係

CEFR の能力記述文とおおむね一致しているだろうと思われる機能をレベル別に挙げておく。

A1 レベル

- 「挨拶する」
- 「謝る」
- 「さよならを言う」
- 「時間についてたずねる」
- 「人を紹介する」

A2 レベル

- 「好きなものについて述べる」
- 「好きな行動について述べる」
- 「比べる」
- 「提案する」
- 「禁止する」
- 「指示する」
- 「招待する」
- 「助言する」

B1 レベル

- 「経験についてたずねる」
- 「理由を述べる」
- 「依頼する」

しかし今まで見てきたように、語彙や統語の複雑性や一般性の程度、丁寧な質問や要求、語用論の使用であるかというその他の要因によって、これらの機能も他のレベルに入ることもちろん考えられるということは、強調しておきたい。

5. まとめ

最後に、本研究の結論をまとめ、問題点を指摘し、今後の課題を述べる。

CEFR の枠組みのフランス語会話モジュールへの適合性が本研究の目的であったが、考察からも得られたように、おおむねこの2つを関連づけることができるであろうと言える。しかしかなりの割合で CEFR の枠組みが適応できた背景には、CEFR の枠組みが抽象的であるからこそ、レベル判定者の解釈次第で能力記述との関連付けが恣意的にできてしまう、ということがあることも否めない。また CEFR の枠組み外で行ったレベル判定において基

準とした、定型表現であるかどうかや、一般的な表現であるかどうかは、筆者の経験的判断であり、必ずしも客観的な基準ではないことも、判断するにあたって問題が残るといえる。

今後の課題として、会話モジュールについて本格的にレベル設定を行っていくとすれば、より具体的な観点を付け加えて、能力記述をアレンジしていく必要があるだろう。例えば、多言語への汎用性は低くなるものの、フランス語のように時制や法の数が多い言語には、今回の調査で利用した単純未来形、複合過去形、半過去形、条件法などの文法項目による発達段階の記述は、レベル判定に役立つといえる。また語彙や表現の出現頻度なども市販テキストや母語話者のコーパスなどを参考に調査し、レベル判定に活かすことができれば、より会話モジュールのレベル付けに説得力と意義を与えることとなる。

日本では、CEFR の概念が導入され、研究を始めてまだ日が浅い。フランス語会話モジュールの開発が始められた当時は、まだ CEFR が発表されて間もない頃であり、CEFR を利用した教材のレベル設定ということは念頭には入れていなかった。そのような既存の教材に CEFR の枠組みを当てはめていくことは至難の業であるかもしれない。しかし、公開されている全会話モジュールと CEFR の整合性が将来的に達成できれば、ヨーロッパのみならずアジア圏の言語を含めた複数言語における、CEFR の枠組みに沿った新しい e-learning 教材を発信することができるであろう。会話モジュールと CEFR の位置づけの試みの更なる研究が望まれる。

参考文献

- BEACCO, Jean-Claude (2005) *Niveau A1.1 Pour le Français*. Paris: Didier.
- BEACCO, Jean-Claude (2004) *Niveau B2 Pour le Français*. Paris: Didier.
- BERARD, Evelyne (2005) *Grammaire du français: Niveau A1/A2*. Paris: Didier.
- Council of Europe. (吉島茂訳編) (2001) 『外国語の学習, 教授, 評価のためのヨーロッパ共通参照枠』, 朝日出版社, (原題 Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment. 2001)
- 工藤洋路, 林善知, 根岸雅史. (2006)「ヨーロッパにおける CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) を利用した言語政策」『言語情報学研究報告』No.10, 東京外国語大学 21 世紀 COE プログラム, pp.155-162.
- 中島正剛, 永田真代. (2006) 「言語能力記述アンケート実施結果報告」『言語情報学研究報告』No.2, 東京外国語大学 21 世紀 COE プログラム, pp.163-206.
- ルーセル・フランソワ, 中田俊介. (2006) 「TUFSS 言語モジュールを用いた授業」『言語情報学研究報告』No.2, 東京外国語大学 21 世紀 COE プログラム, pp.113-132.
- 和田朋子, 長沼君主, 田中敦英. (2004) 「言語能力の発達段階記述について」『言語情報学研究報告』No.2, 東京外国語大学 21 世紀 COE プログラム, pp.95-110.
- 和田朋子. (2004) 「TUFSS 言語能力記述モデル開発のための試み: Common European Framework (of Reference for Language) の考察」, 『言語情報学研究報告』No.5, 東京外国語大学 21 世紀 COE プログラム, pp.89-102.

レベル A1

CEFR のレベル A1 判定規準として記述されている能力記述文から一部抜粋〔言語行為の目的、機能、話題、場所、語彙等に関連する事項〕

基本的な挨拶をする / いとまごいの表現を使う / 元気かどうか聞く / 自分や他人を紹介する
どこに住んでいるか、だれと知り合いか、持ち物などの個人情報について質問したり答えたりする
直接必要のある分野や身近な話題に関して簡単な意見を言う / 数、量、価格、時間を扱う
特定な具体的な状況に関して基本的な語彙や言い回しのレパートリーを持つ

機能	例文	文型（言語構造）	能力記述
挨拶する	Bonjour, ça va ? (こんにちは、お元気ですか?)	Bonjour (定型表現) Ça va? (定型表現)	挨拶 元気かどうか聞く
注意をひく	Tiens, là, c'est mon café préféré. (ほら、あそこ、あれが僕のお気に入りのカフェだよ。)	Tiens (間投詞)	身近な話題への意見
注意をひく	Oh ! Regarde ! (ねえ見て！)	Regarde! (tu に対する命令形)	
注意をひく	Attention ! (気をつけて！)	Attention (名詞)	
謝る	Je suis vraiment désolé ! (本当にゴメン。)	Je suis désolé. (定型表現)	基本的な言い回し
謝る	Excuse-moi, hein. (ゴメンね。)	Excuse-moi. (定型表現)	基本的な言い回し
人に物をあげる	Tiens, c'est pour toi ! (ほら、これ、君に！)	C'est pour ~ (主題文、現在形)	
人に物をあげる	C'est un cadeau ! (プレゼントさ！)	C'est ~ (主題文、現在形)	
さよならを言う	Alors, au revoir. (そう、それじゃ。)	Au revoir (定型表現)	いとまごいの表現
さよならを言う	Bonne soirée... et à demain ! (気をつけてね...また明日！)	Bonne soirée (定型表現) À demain (定型表現)	いとまごいの表現
金額についてたずねる	C'est combien le kilo ? (1 キロいくら?)	C'est combien ? (主題文、現在形、数量の表現)	* 価格を尋ねる (A2)
経験について	Je vois.	Je vois. (現在形)	基本的な言い回し

たずねる	(分かります。)		
経験について たずねる	C'est la première fois alors... (初めてなんですよ。それなら...)	C'est ~ (主題文, 現在形)	* 経験 (B1)
程度について たずねる	Très fatigué ? (すごいですか?)	Très ~ (副詞)	
程度について たずねる	Un peu fatigué ? (それとも少し?)	Un peu ~ (副詞)	
時間について たずねる	Quelle heure est-il ? (今, 何時だい?)	Quelle heure est-il ? (定型表現)	時間
時間について たずねる	Il est cinq heures moins le quart. (5時15分前よ。)	Il est ~ heure (s) . (定型表現)	時間
時間について たずねる	La séance commence à quelle heure déjà ? (それで, 上映は何時に始まるん だっけ?)	Quelle heure ? (定型表現) Commencer à ~. (現在形)	時間
時間について たずねる	À 5 heures pile. (5時きっかり。)	À ~heure (s) pile (前置詞+名詞+副詞)	時間
手段について たずねる	Avec quoi ? (何で?)	Avec quoi ? (前置詞+疑問 詞)	
手段について たずねる	Avec les doigts, bien entendu. (もちろん指でさ。)	Avec ~ (前置詞+名詞)	
場所について たずねる	Je cherche le Parthénon... (バルテノン神殿を探しているんで すが。)	Je cherche ~ (現在形)	
場所について たずねる	C'est tout près. (すぐ近くですよ。)	C'est ~ (主題文, 現在形)	
特徴について たずねる	Elle est comment ? (どんな人?)	Comment (疑問詞)	個人情報
意見を述べる	Alors là, je ne suis pas d'accord ! (あぁ, それには僕は反対ですね。)	Je ne suis pas d'accord. (定型表現)	* 意見に反対する (A2)
好きなものについて述べる	Tu aimes la cuisine japonaise ? (君, 日本料理好き?)	Tu aimes ~?(現在形, 疑問文)	
例をあげる	Regarde les Eskimos, par exemple... (エスキモーを見てごらんよ。例え ばさぁ...)	Par exemple (成句)	基本的な言い回し

例をあげる	Les Japonais, par exemple, ils mangent surtout du poisson... (じゃ、例えば日本人はどう?彼らとはとりわけお魚をよく食べるわ...)	Par exemple (成句)	基本的な言い回し
妥協する	On peut s'arranger! ((そんなこと言わないで) 話し合えばいい方法が見つかるよ!)	On peut ～. (現在形)	
妥協する	Dans ce cas-là, d'accord... (じゃあ、わたしのほうもいいわ。)	D'accord. (定型表現)	* 意見に賛成 (A2)
しなくともよ いと言う	Ça dépend. (場合によるわ。)	Ça dépend. (定型表現)	基本的な言い回し
しなくともよ いと言う	Pas du tout! (そんなことはないわよ!)	Pas du tout. (定型表現)	基本的な言い回し
希望を述べる	En entrée, je voudrais une frisée aux lardons, mais sans lardons. (前菜には、豚ばら肉のフリゼ、ただし、豚ばら肉はなしでね。)	Je voudrais ～. (条件法)	* 食事の注文 (A2)
人を紹介する	Patrick je te présente Guillaume. (パトリック、こちらがギヨームよ。)	Je te présente ～. (現在形)	他人の紹介
人を紹介する	Bonjour Guillaume. (やあ、ギヨーム。)	Bonjour ～. (定型表現)	挨拶
人を紹介する	Enchanté! (初めまして!)	Enchanté! (定型表現)	挨拶
人を紹介する	Guillaume, je te présente Patrick, un vieil ami de lycée. (ギヨーム、こちらがパトリック。高校の頃からの友だち。)	Je te présente ～. (現在形)	他人の紹介
人を紹介する	Patrick, je vais te présenter un mec super, tu vas voir. (パトリック、あなたにすっごく素敵な男を紹介するわ。すぐに会えるわよ。)	Je vais te présenter ～. (近接未来形, 人称代名詞)	他人の紹介
人を紹介する	Je vais faire les présentations. (今、紹介するから。)	Je vais faire les présentations. (近接未来形, 条件法)	他人の紹介

レベル A2

CEFR のレベル A2 判定規準として記述されている能力記述文から一部抜粋〔言語行為の目的、機能、話題、場所、語彙等に関連する事項〕

指示を要求する・与える / 価格をたずねる / 買い物する / 食事の注文をする / 招待する / 申し出をする、受ける

機嫌、調子を聞く / 事物や所持品について短い意見を言ったり、比較したりする / 社交的な短いやり取りを交わす

仕事や自由時間にすることをたずねる / 何をすべきか、どこに行くかを話して会う約束をする

店、郵便局、銀行で簡単な取引をする / 旅行や公共の移動手段、バス・鉄道・タクシーなどについての簡単な情報を得る

簡単な言葉でどのように感じているかを表現する / 毎日の周りの事柄について幅広い説明をする

過去の行動や個人的な体験を話す / 好きなもの嫌いなものを説明する / 友人との議論で他の人の意見に賛成や反対をする

能	例文	文型（言語構造）	能力記述
感謝する	C'était très gentil de votre part ! (ご親切、とても嬉しかったです。)	C'était ～. (主題文, 半過去形)	どのように感じているかの表現
感謝する	Merci d'avoir appelé ! (お電話ありがとう。)	Merci de ～. (定型表現)	どのように感じているかの表現
自己紹介をする	Bonjour, je me présente : Simon Fuji. (こんにちは、はじめまして、シモン・フジと申します。)	Bonjour. (定型表現) Je me présente ～. (現在形)	* 自分の紹介 (A1)
さよならを言う	Bonne soirée à toi aussi, et tu fais la bise à tout le monde ! (あなたも気をつけてね。皆さんによろしく。)	Bon soirée. (定型表現) Tu fais la bise à ～. (現在形)	* いとまごいの表現 (A1)
予定を言う	Je compte aller en Mongolie. (モンゴルに行こうと思ってるのよ。)	Je compte ～. (現在形)	
予定を言う	J'ai l'intention de louer un cheval. (馬を借りるつもりよ。)	J'ai l'intention de ～. (現在形)	

予定を言う	En fait, je pense y aller en voyage organisé. (実はツアーで行くことを考えているの。)	Je pense ～. (現在形)	
程度について たずねる	Vous êtes fatigué comment ? (どんな風に疲れてらっしゃるんです?)	Comment (疑問詞)	調子を聞く
数字について たずねる	Quelle est la superficie du Japon ? (日本の面積は?)	Quelle est ～? (疑問形容詞)	*数 (A1)
数字について たずねる	Et il y a combien d'habitants ? (じゃ、人口はどれくらい?)	Combien de ～? (疑問詞)	*数 (A1)
能力について たずねる	Alors, qu'est-ce que vous savez faire ? (さて、あなたは何ができるのかしら?)	Qu'est-ce que ～? (疑問詞)	*説明 (B1)
場所について たずねる	Pardon, Monsieur, est-ce qu'il y a un poste de police près d'ici ? (すみません、この辺に交番はありますか?)	Est-ce qu'il y a ～? (存在構文)	旅行の情報
場所について たずねる	Prenez la deuxième à gauche, et vous y serez. (2本目の道を左にね。そしたら着きますよ。)	Prenez ～ à ～. (命令形)	旅行の情報
特徴について たずねる	C'est une grande blonde aux yeux verts. (背が高くて、金髪の美人、目はグリーン。)	C'est ～. (主題文)	*個人情報 (A1)
好きなものについて述べる	Quelqu'un qui me plaît ! (私の好きな人とね!)	Quelqu'un qui ～. (不定代名詞、関係代名詞)	好きなものの説明
好きな行動について述べる	Qu'est-ce que vous aimez faire comme activités ? (旅行先ではどんなことをなさりたいですか?)	Qu'est-ce que vous aimez ～ comme ～? (疑問詞)	好きなものの説明
状況について たずねる	Dis-moi, qu'est-ce que tu deviens depuis tout ce temps ? (それで、あの後どうしてるの?)	Qu'est-ce que tu deviens depuis～? (疑問詞)	周りの事柄

条件をつける	Vous êtes vraiment quelqu'un de très motivé. (あなたは、実にやる気のある人ですね。)	Vous êtes quelqu'un de ~. (現在形, 不定代名詞)	
比べる	Dis-donc, elle est plus grande que la mienne ! (あれ、君の車の方が僕のより大きいね。)	Elle est plus ~ que ~. (比較)	比較
比べる	Ta voiture est la meilleure du monde. (君の車は世界で一番ってわけさ。)	Ta voiture est la meilleure. (比較)	比較
提案する	Si on allait au parc de Sceaux ? (ソー公園に行くってのはどう?)	Si on allait ~. (Si +半過去)	申し出
提案する	Alors... pourquoi pas sur les quais ? (じゃあ...セヌ河の川岸は?)	Pourquoi pas ~ (成句)	申し出
依頼する	Tu peux répéter, s'il te plaît ? (もう一度言ってくれる?)	Tu peux ~, s'il te plaît ? (現在形)	申し出
例をあげる	Dans mon cas, je bois du vin rouge. (僕の場合は、赤ワインを飲んでるさ。)	Dans mon cas (成句)	毎日の事柄
許可を求める	Vous me permettez aussi de me promener un peu ? (ちょっとだけ、散歩に出るのもお許し頂けますか?)	Vous me permettez de ~. (現在形, 人称代名詞)	申し出
しなければならない	Le cours de conversation est-il vraiment obligatoire ? (会話の授業は、どうしても履修しなくてはならないのでしょうか?)	Le cours de conversation est-il obligatoire ? (倒置疑問文)	毎日の事柄
しなければならない	En principe, oui. (はい、原則としてそうです。)	En principe (成句)	毎日の事柄

しなければならない	Vous devez obligatoirement suivre tous les cours. (全ての授業に出なくてはならないことになっています。)	Vous devez obligatoirement ~. (現在形, 副詞)	毎日の事柄
しなければならない	Oui, c'est obligatoire. (ええ, 義務です。)	C'est obligatoire. (主題文)	毎日の事柄
禁止する	Monsieur, il est interdit de fumer ici! (もしもし, そのあなた, ここは禁煙ですよ。)	Il est interdit de ~. (非人称構文)	指示
禁止する	Désolé, mais il est défendu de fumer dans la rue ici. (残念ですが, ここでは路上での喫煙も禁止されているんです。)	Il est interdit de ~. (非人称構文)	指示
禁止する	Je vous défends de me parler sur ce ton. (私に向かってそんな口をきくのは許しません。)	Je vous défends de ~. (現在形, 人称代名詞)	指示
禁止する	C'est pas interdit, ça, au moins ? (禁止されてないでしょ?それぐらいは。)	C'est pas interdit. (主題文, 否定形)	指示
指示する	Voici les consignes pour cette année... (今年これからやってもらうことについてお話しますから...。)	Voici les consignes pour ~. (提示文)	指示
指示する	Vous rédigerez un mémoire d'une centaine de pages. (100 ページ程度の論文を書いてもらいます。)	Vous rédigerez ~. (単純未来形)	指示
指示する	Et je vous demanderai un exposé sur votre sujet de recherches. (更に, 自分の研究テーマについての発表をお願いするつもりです。)	Je vous demanderai ~. (単純未来形, 人称代名詞)	指示
指示する	Oui. Présentez en une page votre projet de recherches. (はい, ご自分の研究プランを1ページに書いてきて下さい。)	Présentez en ~. (命令形, 代名詞 en)	指示

しないでくれ と言う	Non, mais, ne le réveillez pas. (いいえ、でも起こさないで。)	Ne le réveillez pas ! (否定の命令形, 人称代名詞)	指示
しないでくれ と言う	Simplement, ne vous endormez pas ! (ただ、眠らないでくださいね！)	Ne vous endormez pas ! (否定の命令形, 代名動詞)	指示
しなくともよ いと言う	C'est vrai qu'il faut payer un " remerciement ", au début ? (“礼金”を最初に払わなくちゃならないって本当?)	Il faut ~. (非人称の il)	毎日の事柄
しなくともよ いと言う	Ce n'est pas du tout obligatoire. (別に義務ってわけじゃないわよ。)	C'est pas obligatoire. (主題文, 否定形)	毎日の事柄
しなくともよ いと言う	On doit obligatoirement payer très cher ? (いつも高い運賃を払わないといけ ないの?)	On doit obligatoirement ~ ? (現在形)	毎日の事柄
しなくともよ いと言う	Non, c'est facultatif. (いえ、そんなことはないわ。)	C'est ~. (主題文)	毎日の事柄
しなくともよ いと言う	Oui, mais il faut être très jeune, ou étudiant... (でも子供か学生じゃなくちゃいけない んだろう...?)	Il faut ~. (非人称の il)	毎日の事柄
しなくともよ いと言う	Il faut juste avoir du temps... (時間さえあればいいのよ...)	Il faut ~. (非人称の il)	毎日の事柄
招待する	Vous êtes invitée... (お招きしたいのですが...)	Vous êtes invitée. (受身形)	招待
助言する	Mais je vous conseille de bien préparer votre séjour. (でも、向こうでの生活の準備は しっかりしておかないといけない よ。)	Je vous conseille de ~. (現在形, 人称代名詞)	指示

助言する	Où me conseillez-vous d'aller ? (どこがお勧めですか?)	Où me conseillez-vous de ~? (疑問詞, 人称代名詞)	指示
助言する	Pour connaître les Français, il vaut mieux loger chez l'habitant ? (フランス人を良く理解するためには、ホームステイする方が良いでしょうか?)	Il vaut mieux ~. (成句, 非人称の il)	指示
助言する	Et puis, je vous recommande aussi d'entrer dans une association. (それから, 何かのクラブに入るのもお勧めします。)	Je vous recommande de ~ (現在形, 人称代名詞)	指示
助言する	Et pour l'argent, qu'est-ce que vous me conseillez ? (費用の件なんですが, どうしたら 良いでしょうか?)	Qu'est-ce que vous me conseillez ? (疑問詞, 人称代名詞)	指示
要求する	J'exige des explications ! (説明を要求します!)	J'exige ~. (現在形)	
要求する	J'exige des excuses ! (謝罪を求めます!)	J'exige ~. (現在形)	
要求する	Et moi, j'exige une augmentation ! (それなら私は増額を要求します!)	J'exige ~. (現在形)	
希望を述べる	J'aimerais bien moitié frites, moitié haricots verts pas trop cuits. (フライドポテトと“アルデンテ”の インゲンを半分づつにして頂きたい んだけど。)	J'aimerais bien ~. (定型表現, 条件法)	食事の注文

レベル B1

CEFR のレベル B1 判定規準として記述されている能力記述文から一部抜粋〔言語行為の目的、機能、話題、場所、語彙等に関連する事項〕

経験、できごと、夢、希望、野心を説明する / 意見や計画の理由、説明を短く述べる
 日常生活での問題に柔軟に対応する / 驚き、幸せ、悲しみ、興味、無関心などの感情を表現する
 会話や議論を続ける / 友人とのくだけた議論で個人的な見方や意見を示したり要求したりする
 他の人の見解に簡単なコメントを述べる / 返品する / 苦情を言う / 詳細な指示を与えながらやり方を説明する
 信念、意見、賛成、反対を丁寧に表現する
 日常生活範囲内の殆んどの話題、家族、趣味、仕事、旅行、時事など述べたいことを述べられる語彙を持つ

機能	例文	文型（言語構造）	能力記述
感謝する	Écoutez, je voulais vraiment vous remercier pour hier soir. (昨夜はありがとうございました。お礼を申し上げたくて。)	Je voulais vous remercier pour ~. (半過去, 人称代名詞)	感情の表現
経験について たずねる	Vous êtes déjà allé dans un grand restaurant ? (一流レストランに行ったことってありますか?)	Vous êtes déjà allé~. (複合過去)	経験
経験について たずねる	Et vous, quand vous y êtes allé, ça s'est passé comment ? (で、あなたが行かれたときって、どんなふうでした?)	Quand vous y êtes allé, ça s'est passé comment ? (接続詞, 中性代名詞 y, 複合過去)	経験
時間について たずねる	Et David, il doit arriver à quelle heure ? (で、ダヴィッドは、何時に来ることになってるの?)	Il doit arriver à quelle heure ? (疑問詞)	計画
手段について たずねる	Stéphane, comment fait-on pour choisir un bon camembert ? (ステファン、美味しいカマンベールはどうやって選ぶの?)	Comment fait-on pour ~ ? (疑問詞)	日常生活の問題

手段について たずねる	Mais comment fait-on pour savoir ? (でもそれはどうやったらわかるの?)	Comment fait-on pour ~ ? (疑問詞)	日常生活の問題
場所について たずねる	Vous pouvez m'indiquer le chemin pour y aller ? (どうしたら行けるか道順を教えてくださいいただけますか?)	Vous pouvez m'indiquer le chemin pour ~ ? (現在形, 人称代名詞)	*旅行 (A2)
意見を述べる	Moi, je pense qu'on devrait interdire les cigarettes, tout simplement. (私はいっそのこと, タバコを売のを禁止すべきじゃないかと思うのだけど。)	Je pense qu' on devrait ~. (現在形, 接続詞 que, 条件法)	丁寧な意見
意見を述べる	À mon avis, ça ne marcherait pas. (僕の考えでは, それは上手くいきませんよ。)	A mon avis, ça ne marcherait pas (成句, 定型表現, 条件法)	丁寧な反対
好きなものについて述べる	Tu préférerais peut-être quelque chose de plus épicé ? (それより, もっとスパイスのきいた料理の方がいいかな?)	Tu préférerais ~ ? (条件法)	*好きなもの (A2)
順序について述べる	Pour commencer tu ouvres " mon PC "... (じゃ, まず“マイ コンピュータ”を開いて...)	Pour commencer (成句)	詳細な指示
順序について述べる	Ensuite cliquer " panneau de configuration ", puis " clavier " puis " langues ". (次に, “コントロールパネル”, それから“キーボード”, そして“言語”...)	Ensuite (副詞)	詳細な指示

順序について述べる	Et là, enfin, tu as une case "ajouter une langue". (そう, それで“言語を追加”のところに來たでしょう。)	Enfin (副詞)	詳細な指示
条件をつける	Et que comptez-vous faire, si vous réussissez cet examen ? (それでこの試験に合格したら, どうするつもりですか?)	Que comptez-vous faire, si vous réussissez~? (疑問詞, 接続詞 si)	計画
条件をつける	Si je le réussis, je poursuivrai mes études. (もしこれに受かったら, 研究を続けることになると思います。)	Si je le réussis, je poursuivrai ~. (接続詞 si, 単純未来形)	計画
条件をつける	Si tout va bien, j'essaierai d'obtenir une bourse de recherches. (全て順調にいけば, 研究のための奨学金をもらえるよう, 頑張ってみるつもりです。)	Si tout va bien, j'essaierai de ~. (接続詞 si, 単純未来形)	計画
条件をつける	Et si vous l'obtenez ? (仮に, それが貰えたとしたら?)	Si vous ~? (接続詞 si)	希望
条件をつける	Je partirai un an ou deux au Japon. (1年か2年くらいは, 日本に行きたいですね。)	Je partirai ~. (直説法単純未来形)	希望
条件をつける	Je préparerai une thèse. (論文の準備をします。)	Je préparerai ~. (直説法単純未来形)	計画
条件をつける	Mais, cet examen, si vous le ratiez ? (じゃ, もし, この試験に失敗したら?)	Si vous le ratiez ? (接続詞 si, 代名詞, 半過去)	* 仮想状況 (B2)
条件をつける	Si je le ratais ? (もし失敗したらですって?)	Si je le ratais ? (接続詞 si, 代名詞, 半過去)	* 仮想状況 (B2)
条件をつける	Je le repasserais ! (もう一度受け直しますよ!)	Je le repasserais. (代名詞, 条件法)	* 仮想状況 (B2)

条件をつける	Ah, mais... si je ne vous avais pas rencontré... (やあ, でも, もし先生にお目にかかっていなければ...)	Si je ne vous avais pas rencontré. (接続詞 si 大過去)	* 仮想状況 (B2)
理由を述べる	Parce que j'étais très occupé, j'avais une réunion très tard... (だって, すごく忙しかったんだよ。遅くまで会議があってね...。)	Parce que j'étais ~. (接続詞 parce que, 半過去)	理由を述べる
理由を述べる	C'est parce que je ne savais pas que ce serait si long. (だって, そんなに長引くとは思わなかったんだよ。)	C'est parce que je ne savais pas que ~. (主題文, 接続詞 parce que 半過去)	理由を述べる
依頼する	Dis-moi, Corinne, est-ce que je pourrais te demander un petit service ? (やあ, コリーヌ, ちょっと頼んでいいかな?)	Est-ce que je pourrais te demander un petit service ? (疑問文, 条件法, 人称代名詞)	要求
依頼する	Pourrais-tu me faxer l'adresse de ce restau de sushi... (例の寿司屋の住所をファックスしてくれるかな...)	Pourrais-tu ~ ? (疑問文, 条件法)	要求
依頼する	Tu pourrais aussi me donner le numéro de Julie ? (それから, ジュリーの電話番号も教えてくれる?)	Tu pourrais ~ ? (疑問文, 条件法)	要求
依頼する	Et te serait-il éventuellement possible de me prêter 100 euros ? (それから, もしかして, 僕に 100 ユーロ貸してくれたりするかな?)	Te serait-il possible de ~ ? (疑問文, 人称代名詞, 条件法, 非人称 il)	要求
依頼する	Est-ce que tu ne pourrais pas me prêter 100 euros ? (僕に 100 ユーロ貸してくれないかな?)	Est-ce que tu ne pourrais pas ~ ? (疑問文, 条件法)	要求

妥協する	À une condition : on en rediscute dès que ton travail sera fini. (いいけど、1つだけ条件があるわ。あなたの仕事が終わった段階で、もう一度話し合うっていうこと。)	A une condition (前置詞句)	計画の説明
許可を求める	Alors, est-ce que je pourrai prendre un bain aujourd'hui ? (じゃ、今日はお風呂に入ってもいいですか?)	Est-ce que je pourrai ~ ? (疑問文, 単純未来形)	* 指示の要求 (A2)
許可を求める	Euh...je pourrais peut-être prendre un verre de vin ? (それで...ワインを1杯くらいなら飲んでもいいですよ?)	Je pourrais peut-être ~ ? (疑問文, 条件法)	* 指示の要求 (A2)
しなくともよ いと言う	Rien ne t'oblige à voyager en train rapide. (別に特急で旅行しなきゃならないわけじゃないし。)	Rien ne t'oblige à~. (不定代名詞 rien, 人称代名詞)	個人的な見解
助言する	À votre place, je n'irais pas à Paris. (私だったら、パリには行きませんね。)	A votre place, je n'irais pas ~. (成句, 条件法)	個人的な見解
助言する	Vous feriez mieux de choisir une ville universitaire de province. (地方の大学都市を選ぶ方が良いでしょう。)	Vous feriez mieux de ~. (疑問文, 条件法)	個人的な見解
助言する	Vous devriez leur parler ! (彼らに話してみるべきでしょうね!)	Vous devriez ~. (条件法)	個人的な見解
希望を述べる	Mais je le souhaiterais sans viande de bœuf . (ただし、お肉は抜きにして頂きたいの。)	Je le souhaiterais ~. (条件法)	* 食事の注文 (A2)